



「島の逸品ブース」出展者集合写真

# しまづくりキャラバン開催報告

## ——「島の逸品ブース」と「島EXPO」による島産品の魅力発信

文：大川 写真：黒岩正和(ただし①～⑩は本誌編集部撮影)



「島EXPO」出展者集合写真



3



1



4



2



5

日本離島センターが実施する、離島地域と東京以外の主要都市の交流を促進し、島の魅力の発信や地域産業の活性化につなげる「しまづくりキャラバン」。今年度は例年よりも規模を拡大し、関西・大阪万博で盛り上がる大阪にて開催した。令和七年九月四日（木）・五日（金）、インテックス大阪での食品事業者向け展示会「フードストアソリューションズフェア2025」（主催：日本食糧新聞社関西支社）の一角に「島の逸品ブース」を展開、全国から四一の離島事業者が参加し、バイヤーなどに直接商品をアピールした。

出展した事業者からは「地元では分からぬバイヤーの声が聞けて勉強になった」「多様な客層の反応を肌で感じられたことが大きな収穫」などの声が聞かれた。台風が接近する悪天候の中での開催となつたが、二日間の来場者は計一万九三九人にのぼり、盛会裏に終了した。



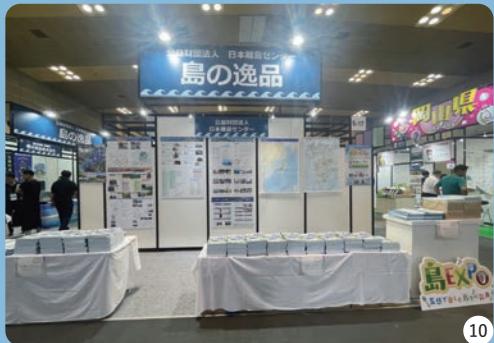
9



6



7



10



8

① 与論島ではろぼろ鳥を生産・販売するヨロンアイランダーフーム。② 烏羽磯部漁業協同組合の海苔は、全国で唯一「葉体冷凍」という製法で生産。③ 三宅島の西野農園で生産される明日葉製品は農薬不使用・添加物ゼロ。④ 大竜ファームは八丈島で栽培した生しいたけおよび加工品を販売。⑤ 駆除したイノシシ肉を加工し、ジビエ振興に取り組む上島町獣肉処理加工会。⑥ 木桶醤油を生産する小豆島醤油協同組合。⑦ 福江島の椿乃が製造販売する食用椿油は、香りが強くナッツのような贅沢な味わい。⑧ 三島村は黒島の公設公営の蔵で作った焼酎をPR。⑨ 保存料や着色料不使用の水産加工品を生産・販売する奈留町漁業協同組合。⑩ 日本離島センターによる島の紹介コーナー。



11



14



12



112



19



15



20



16



21



17

11島EXPOの開場時の様子。会期中は、多くの来場者で賑わった。12入場ゲートすぐの総合情報コーナーでは冊子『島々の日本』を配布。13東京都大島町の大島牛乳では牛乳やバターを販売。14愛媛県上島町の公式ゆるキャラ「かみりん」も登場。15山口県の祝島ネット21ブースでは石積みの練塀をバックに記念撮影も。16大分県佐伯市でのいーぶまりんは、深島みそや猫グッズを紹介。17長崎県対馬市の対馬コノソレは、はちみつやジビエ肉を販売。18島内産たんかんを使ったどら焼き「やくどら」を販売する鹿児島県屋久島町のやくしま果鈴。19沖縄県北大東島・南大東島が揃って出展。20 21酒類の試飲・販売を行なうブースも。写真は長崎県壱岐市のISLAND BREWERY(上)と鹿児島県与論町の有村酒造。



18





32



29



30

22 領土・主権展示館ブースのVR体験が好評を博した。<sup>23</sup>「島EXPOブックコーナー」(運営：紀伊國屋書店梅田本店)では離島を題材とした小説やエッセイなどを販売。<sup>24</sup>言語復興の港では方言オノマトペスタンプが押し放題。<sup>25</sup>離島百貨店の「島めぐりおでん」。島根県隠岐のパイ貝、東京都八丈島の「うみかぜ椎茸」ほか多彩な島の食材をおでんに。<sup>26</sup>都道県ごとの島PRステージ。<sup>27</sup>小笠原古謡の唄うたいokei。美しい歌声で会場を沸かせた。<sup>28</sup>元阪神タイガースの今成亮太さんによるトークショー。<sup>29</sup>島のドローン映像を制作するRAVEN VISIONの活動紹介。<sup>30</sup>地域航空サービスアライアンス協議会のステージでは各航空会社のCAが登壇。<sup>31</sup>関西奄美会の唄と踊りは来場者も巻き込み大盛り上がり。

<sup>32</sup>会場の一角には島の世界自然遺産パネルコーナーも。



31

九月六日（土）・七日（日）には、同会場で初開催された一般向け展示即売会「食彩日本！うまいもんまつり」（主催：日本食糧新聞社関西支社）に、「島EXPO—五感で楽しむ島々の彩典」として出展。北海道から沖縄まで全国約五〇の島、九〇の事業者が参加した。

各ブースでは食品をはじめとした特産品販売を行なったほか、（一社）離島百貨店が「島おでんコーナー」「離島つながる商店」を運営。紀伊國屋書店梅田本店が「島EXPOブックコーナー」として島に関する本を販売した。ステージでは、島唄や踊り・トークが披露され、大いに盛り上がった。

関西在住の離島出郷者からは、大阪で開催されたことに対する喜びの声、出展事業者からは、「初の大坂開催を経て手ごたえを感じた」などの感想が寄せられた。来場者からも「知らなかつた島の魅力に触れることができた」といつつ好意的な声を聞くことができた。